

エゾヒメシロチョウ

澄川森林の昆虫標本を作るに決めてから2018年7月14日に採集した白い蝶の展翅をして図鑑を調べて同定を試みていましたら、珍蝶であるエゾヒメシロチョウしかも夏型の♀を同日に採集したことになりました。図鑑の説明書きには札幌圏内で数か所で見られるだけ、との記載があるのです。

その少ない場所の一つが澄川森林であることが実証されたわけです。これも捕虫網で捕らえてこそその成果であります。

白い蝶はいろいろありまして、代表的なモンシロチョウをはじめとして、エゾシロチョウ、スジグロシロチョウなどが、コモンですが、飛んでいるのを一見で同定できる人は専門家でしかできないことだと思います。

モンシロチョウに比べて少し小さく見えますし、飛び方も弱々しいのですが、網に入れるには苦勞するのです。

蝶の飛び方は予測しにくく、鳥でも捕らえにくいので、まして子供の腕では網に入れるのは至難なのです。また、網に入ったらパニックになって翅を傷めますので、出来るだけ早く網を絞りまして網越しに人差し指と中指で胸を掴みまして、つぶれない程度に圧迫してやりますと、静かになります。そうしておいて、やおら三角紙をとりだして収納するのであります。

標本にするには、死後硬直する前に整翅します。展翅板を用いましてトレーシングペーパーをテープ状にカットして翅を抑えながら姿を整えてゆきます。

正規の展翅板は木製ですが、今は板状の発泡スチロールを100円ショップで見つけたのでそれで手作りしました。



クサフジに止まって交尾待機姿勢の♀



マチバリが刺さりやすく使い勝手が頗るよろしいのです。右上の写真は7月20日に採集したものです。上が♀、下が♂です。澄川の駐車場広場の山側端に食草のクサフジが繁茂していますので、個体数が多いようです。草刈りに際してこれらクサフジは刈りとらないでいただきたいお願いもうしあげます。分布は北海道だけのようです。(文・高野)